

目標達成計画

作成日:平成29年1月21日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念作り、その理念を管理者と職員は共有して実践につないでいきたい。	地域密着型サービスとしての役割を踏まえた理念を作り、スタッフ全員で共通認識を持ち、実践につなげる。	毎月のMT時に、担当者が中心となって理念にそったテーマの話し合いを行い、共通認識を持って理念の実践に繋げていけるかの確認を行う。また自己チェックを作成し、達成状況の確認を行う。	12ヶ月
2		運営推進会議は家族・地域住民・地域包括からの参加の下に開催できるように働きかけをおこなう。	運営推進会議は家族、地域住民、地域包括からの参加の下に開催し、ホームでの取り組み状況や報告を行う。	家族・地域住民、地域包括、または市職員にも参加の下に開催し、ホームでの取り組み状況や報告を行う。	12ヶ月
3		火災や土砂災害を想定した避難訓練を継続し、事業所としてじゅんぴや働き、または地域隣接施設の協力において何が課題かを再度明確にしていく。	災害時、地域の協力を得ながら職員各自もあらゆる情報に注意し、各自の役割を果たしながら、適切な準備、避難誘導を行い、被害が最小限にできるように取り組む。	運営推進会議を活用し、情報の共有や協力の統一を行いながら、訓練を行う。各マニュアルリストを随時見直し、安全で安心した避難に繋げる。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。